

～行財政入門講座～

行財政
入門講座

富士見市の将来の都市像と
わたしたちの暮らし

第三回 市議会を傍聴してみよう — 議会の仕事を知り暮らしに役立てる —

- ◇ 第三回 行財政入門講座は「議会の仕事を知り暮らしに役立てる」と題して「私達の選んだ議員が活躍する市議会の傍聴」を以下の通り行いました。

傍聴日	9月16日(火)
集合	富士見市役所 1Fホール AM9:15 集合
議会開会	AM 9:30 ~
参加者	AM 21名 PM 2名 合計23名

- ◇ 9:30開会 議長の開会宣言と挨拶、成立宣言の後、一般質問が開始された。
- ◇ 9月議会では16日から22日まで19人の議員が一般質問を行った。
- ◇ この日の午前中は吉田和江議員(21・未来クラブ)及び関野兼太郎議員(21・未来クラブ)が行った。
- ◇ 自分たちで選んだ市議が議会でどんな活動をしているのか、議会ではどんな事をやっているのか興味はあるが、「一人で傍聴は結構勇気がいる、今回は良いきっかけになった」。(受講者意見)
- ◇ 市民大学の20数名と他十数名の傍聴者で傍聴席はほぼ満席状況。珍しく多いとの事。
- ◇ 吉田、関野両議員は 富士見市の将来にかかわる重大な問題の提起や同時に私たちの生活に直接かかわる案件について質問され大変興味深く傍聴できた。

◆資料 市民大学で傍聴した、吉田和江、関野兼太郎議員の「一般質問通告要旨」を**抜粋**しました。市民大学

1 吉田和江（議席番号3番）

1. 2025年問題について

- (1) 団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年問題について
富士見市の見通しは
- (2) 市政への波及問題の想定は

2. 児童の金銭教育について

- (1) ものやお金に対する健全な価値観を身につけるための実践教育の実施状況について
- (2) 懸念される事項について

3. ふじみ野駅周辺の課題について

- (1) 東口に桜の植樹を行うことについてのその後の状況は
- (2) ムクドリ対策の状況、効果は
- (3) 西口脇の店頭喫煙による煙対策について
- (4) 駅前の放置自転車対策について

2 関野兼太郎（議席番号12番）

1. 市民総合体育館の現状と今後について

- (1) 事故調査委員会の最終報告を受けての所感は
- (2) 災害復旧事業の現状と進捗状況は
- (3) 今後の再建方針は

2. 子供から高齢者までお互いが守りあえる社会を

- (1) 県が提唱する「地域支え合い」事業の実施は
- (2) 学校と家庭が連携して児童生徒のインターネットマナー向上の取り組みを
- (3) 通学路の安全確保について

- ① 住宅建設が進む水谷小学校区の安全対策は
- ② 交通指導員の下校時の配置は

3. 増え続ける空き家対策についてこれまでの経緯を踏まえて改めて何う

- (1) 管理の行き届かない空き家の最新状況は
- (2) 空き家に対する対処の状況は
- (3) 条例制定への検討状況は

質問実施方法

- (1) 質問順序は、質問通告書の受付順とする。
- (2) 質問時間は、答弁の時間を含めて、一人60分以内とする。
- (3) 1回目の質問は、登壇して一括で行う。
- (4) 2回目以降の質問は、質問席からの一問一答方式とする。
- (5) 質問回数の制限はしない。

抜粋



議場全景

議場全景。正面奥、議長団。左右は市長を初めとした答弁に立つ市幹部。



出席議員数と質問残り時間

星野市長

議長



満員の傍聴席



開会前の議場（議員入場前）